

2013 年度 彙報

◆研究事業

- ・平成 25 年度における参加研究事業は以下のものである。
 - (1) 多様化する家族と問われる血縁関係（和泉広恵）
 - (2) 国際性を有する社会福祉教育に関する日中比較研究（沈潔）
 - (3) キャリア制度としての試験とタイ女性（尾中文哉）
 - (4) 高まる経済リスクと世帯の対応に関する日韓比較（大沢真知子）
 - (5) 社会貢献を目指す事業における女性の働き方とキャリア形成に関する研究（鈴木紀子）
- ・独自研究事業（学外資金獲得）の進展
上記 5 事業の他、研究所を基盤として平成 23 年～27 年度文部科学省私立大学戦略的研究基盤形成支援事業の「女性のキャリア支援と大学の役割についての総合的研究」を以下のように進めた。
 - (1) テーマ 1「女性とキャリアに関わる戦後社会調査の再分析と女性調査アーカイブの公開運用」として、書誌データの追加及び更新を行った。
 - (2) テーマ 2「大学における女性の再就職支援プログラムの開発研究」として、昨年度実施した「教職免許状取得者のキャリアに関する調査」及びリカレント修了生を対象とした「女性のキャリアと大学の役割に関する調査」の集計を行い、結果及び分析を報告書にまとめ刊行した。

◆教育支援

- ・「教養特別講義 2」の講師選定および課題図書選定をおこなった。
- ・「キャリア女性学副専攻」（西生田キャンパス）、「現代女性とキャリア連携専攻」（目白キャンパス）と情報交換をおこなった。

◆講演会等の開催

- ・研究事業の一環として、以下のシンポジウム、研究会などを開催した。さらに学外の研究者や研究機関との交流を行った。
 - (1) シンポジウム「中国における社会福祉教育と女性のキャリア形成—中国と日本」
社会福祉学科との共催
平成 25 年 7 月 20 日 13 時 30 分～16 時 30 分 百年館低層棟 百 104 教室

- (2) 研究会開催「職場における男女間格差：日本の一大企業の計量分析的ケーススタディ」

平成 25 年 8 月 1 日 11 時～13 時 当研究所内

講師：加藤隆夫先生

- (3) 研究会開催「ホワイトカラー正社員の管理職割合の男女格差の決定要因について」

平成 25 年 9 月 17 日 15 時～17 時 30 分 百年館低層棟 百 104 教室

講師：山口一男先生

- (4) 立教大学社会情報教育研究センター訪問、データベースについてのヒアリング

平成 25 年 9 月 30 日 15 時～17 時

- (5) ドイツ経済新聞ハンデルスブラットのハイデ・ダナさんが取材のため来訪

平成 25 年 12 月 5 日 13 時～15 時

- (6) シンポジウム「女性の活躍推進に、いま何が求められているのか」

(文部科学省私立大学戦略的研究基盤形成支援事業)

平成 25 年 12 月 21 日 13 時～17 時 新泉山館 1F 大会議室

基調講演者 山口 一男 (シカゴ大学教授)

パネリスト 坂本 里和 (経済産業省経済社会政策室長)

武石 恵美子 (法政大学教授)

黒澤 昌子 (政策研究大学院大学教授)

大沢 真知子 (当研究所所長)

- (7) 「再就職支援のためのワークショップ」(教職教育開発センターとの共催)

平成 26 年 2 月 22 日～23 日 9 時～16 時 新泉山館 2F 会議室 1

講師：吉崎 静夫 (教職教育開発センター所長)

坂田 仰 (教職教育開発センター教授)

田部井 洋文 (本学家政学部児童学科客員教授)

金本 佐紀子 (教職教育開発センター客員研究員)

大山 智子 (早稲田大学非常勤講師・白百合女子大学生涯発達研究教育センター研究員)

- (8) 「2014 年リカレント教育課程 春季特別講座」(リカレント教育課程との共催)

平成 26 年 2 月 28 日、3 月 7 日 10 時 30 分～14 時 30 分

3 月 12 日 13 時～15 時 45 分

場所：百年館 4 階 マルチメディア室 2

講師：TAC 株式会社講師 尾方 僚 (採用コンサルタント)

◆研究所発行物

- ・日本女子大学現代女性キャリア研究所紀要『現代女性とキャリア』第 5 号
- ・日本女子大学現代女性キャリア研究所ニューズレター vol.5

- ・女性のキャリア支援と大学の役割についての総合的研究「女性のキャリア支援と大学の役割に関する調査」結果報告書
- ・女性のキャリア支援と大学の役割についての総合的研究「教職免許状取得者のキャリアに関する調査」報告書

◆研究活動・調査

- ・「女性のキャリア支援と大学の役割に関するインタビュー調査」実施（2013年2～3月）
- ・ホームページ及び研究所パンフレットの更新のほか、データベースパンフレットを作成し、学内外への研究者や研究機関に対して発信